



四中だより

令和8年(2026年)

8月26日(水)

豊中市立第四中学校

2学期が始まりました!!

夏休みは楽しかったですか？

今日から2学期が始まりました。

2026年の夏休みはことのほか暑かったですね。

この夏から使われるようになった言葉どおり、「酷暑」の毎日でした。

熊本県の地震や千葉県の水害の被害は本当にお気の毒で心が痛みますね。

自然の怖さをまざまざと見せつけられるとともに、他人事ではなく自分たちにも生かしておかなくてはならない教訓がたくさんあります。

備えあれば憂いがないことはないけれど、大事を小事にはできるはず。

あなたはどんな備えをしていますか？



部活動のこの夏の成果の表彰は、再来週の9日(水)の生徒集会で行います。

この夏も教頭先生にお留守番をお願いして、会議と研修のないときにはできるだけ試合の応援に駆けつけました。

熱くなって大声で声援を送った試合、最後の最後で自己ベストを出した人、結果は出なかったけど一生懸命プレーしたり、声を張り上げて応援したり、わざわざ遠方まで足を延ばして友達の応援に駆けつけたり。四中生の素晴らしいところをたくさん見せてもらえました。

どんな2学期にしてほしいか、1年生へ

中学生になって初めての夏休みはどうだったろう？

すっかり中学校になれた君たちには、体育大会と合唱祭を頑張ってもらいたい。

先生が中心になって進めていく小学校の運動会とは違って、中学校の体育大会は自分たちで考える体育大会だ。応援旗、応援、競技、そして各委員はそれぞれの係に分かれて大会を運営していく裏方の仕事がある。クラスは総力戦だ。先輩の話聞いて参考にして、クラスで協力して友達の違ったいいところをたくさん見つけてほしい。

また、合唱祭の伴奏者はもうこの休み中から練習を始めてくれる。そういう人の頑張りにどう応えていくのか、どんな歌声を体育館に響かせてくれるのかが今から楽しみです。

どんな2学期にしてほしいか、2年生へ

部活動によっては3年生が引退してよいよ中心になって活動始めた人も多いことだろう。先輩がいなくなって初めて気づくことも多いかもしれない。今の3年生も去年の今頃そんな感じだったと思うよ。

2年生の2学期は、一度経験をしている体育大会を、去年のクラスの反省や成功を生かしてグレードアップしたものにしてほしい。1年生はきっと見ている。

体育大会が終わると職場体験だ。この夏学年の先生たちはお世話になる事業所との打ち合わせを済ませて、3日間頑張れる環境を作ってくれている。

働くことを通じて「社会」を勉強してほしい。

どんな 2 学期にしてほしいか、3 年生へ

中学 3 年生 = (イコール) 受験生、ではありません。

この 2 学期は、それぞれが進路を選択し、その進路に向けて努力を続ける時期です。一日一日気持ちが重くなり、どこか胃が重い、楽しいことをしていても楽しみ切れないようになってきます。

でも、中学 3 年という一年は受験だけではないんです。今の四中では最高学年です。あなたたちのふるまいを後輩は見ています。行事でも、過去 2 年間にどういう経験をしてきたか、それを示さなくてはならない学年です。

体育大会では、熱い、大きく揃う 76 期生の声が響きわたる、全員で作り上げた「四中ソーラン」を見せてほしいです。

仲の良さを力に変えて、2 学期は、行事に進路に真剣に向き合ってくれることを願っています。

継続は力、です。頑張りましょう。

各学年の 9 月の主な行事

- 全学年： 教育実習 (8/31~9/18)・班長会議 (4 日)
全校集会 (9 日)・生徒議会・生徒会専門委員会 (15 日)
体育大会学年練習 (17 日)・体育大会生徒係別打ち合わせ (18 日)
- 3 年生： チャレンジテスト (2 日)・実力テスト② (10 日)

「今の時代は、若い子には酷」イチローさんの言葉から

現役引退後、MLB シアトルマリナーズで選手の指導にあたっている元プロ野球選手・イチローさんが高校野球部で指導を行っていることが知られています。

初めて指導に行ったのが、この夏優勝した智弁和歌山高校でした。当時大きな話題になったイチローさんの発言を改めて思い出したので紹介します。

「今の時代、指導する側が厳しくできなくなって。何年くらいなるかな。僕が初めて高校野球の指導にいったのが 2020 年の秋、智弁和歌山だね。このとき既に智弁の中谷監督もそんなこと言った。なかなか難しい、厳しくするのは、と。

でも (中略) これは酷なことなのよ。高校生たちに自分たちに厳しくして自分たちでうまくなれって、酷なことなんだけど、でも今そうなっちゃっている (厳しくなくなっている) からね。(中略) 自分たちで厳しくするしかないんですよ。ある時代まではね。遊んでいても勝手に監督・コーチが厳しいから全然できないやつがあるところまでは上がってこられた。やんなきゃしょうがなくなるからね。

でも、今は全然できない子は上げてもらえないから、上がってこられなくなっちゃう。それ自分でやらなきゃ。なかなかこれは大変」と様変わりした現代では、選手がより自身を律することが求められる過酷さを指摘した。

(2023 年 11 月 6 日、スポニチアネックス【イチロー氏「指導する側が厳しくできない」時代の流れ「酷だけれど…自分たちで厳しくするしか」】より)

表面的には優しいけれど、最終的には「自己責任」という言葉で突き放される現代です。未来は、どうなっていくのか、果たしてどんな社会になっているのか、多様な価値観の中で、静かな生存競争が進んでいる気がします。